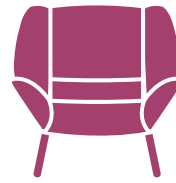


WORKFRAN

CONCEPT BOOK



PLUS

これからの働き方に必要なものは

FUTURE

時代とともに、働き方は変わります。未来について考えたとき、私たち“人”の役割や働き方は変化していくと予想できます。

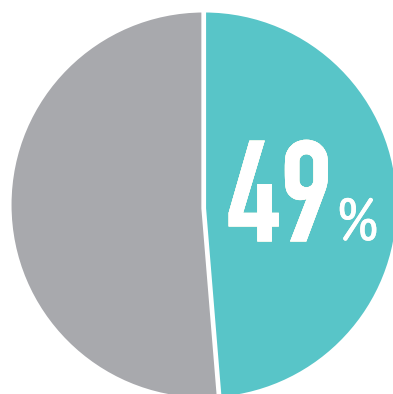
FACT

01

2025～2035年には、日本の労働人口の49%が人工知能やロボットに代替可能。

人工知能やロボット等による代替の可能性が高い労働人口の割合（日本、英国、米国の比較）

（出典）野村総合研究所「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に～601種の職業ごとに、コンピューター技術による代替確率を試算～」(2015年12月2日)



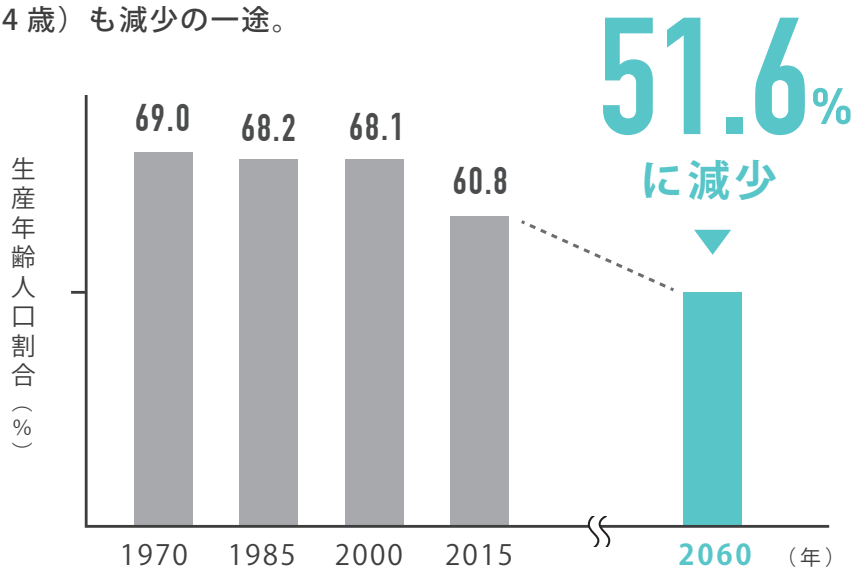
FACT

02

日本の人口減少と高齢化が進むことで、生産人口（16～64歳）も減少の一途。

総人口に対する生産人口の推移

（出典）総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年7月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）、厚生労働省「人口動態統計」

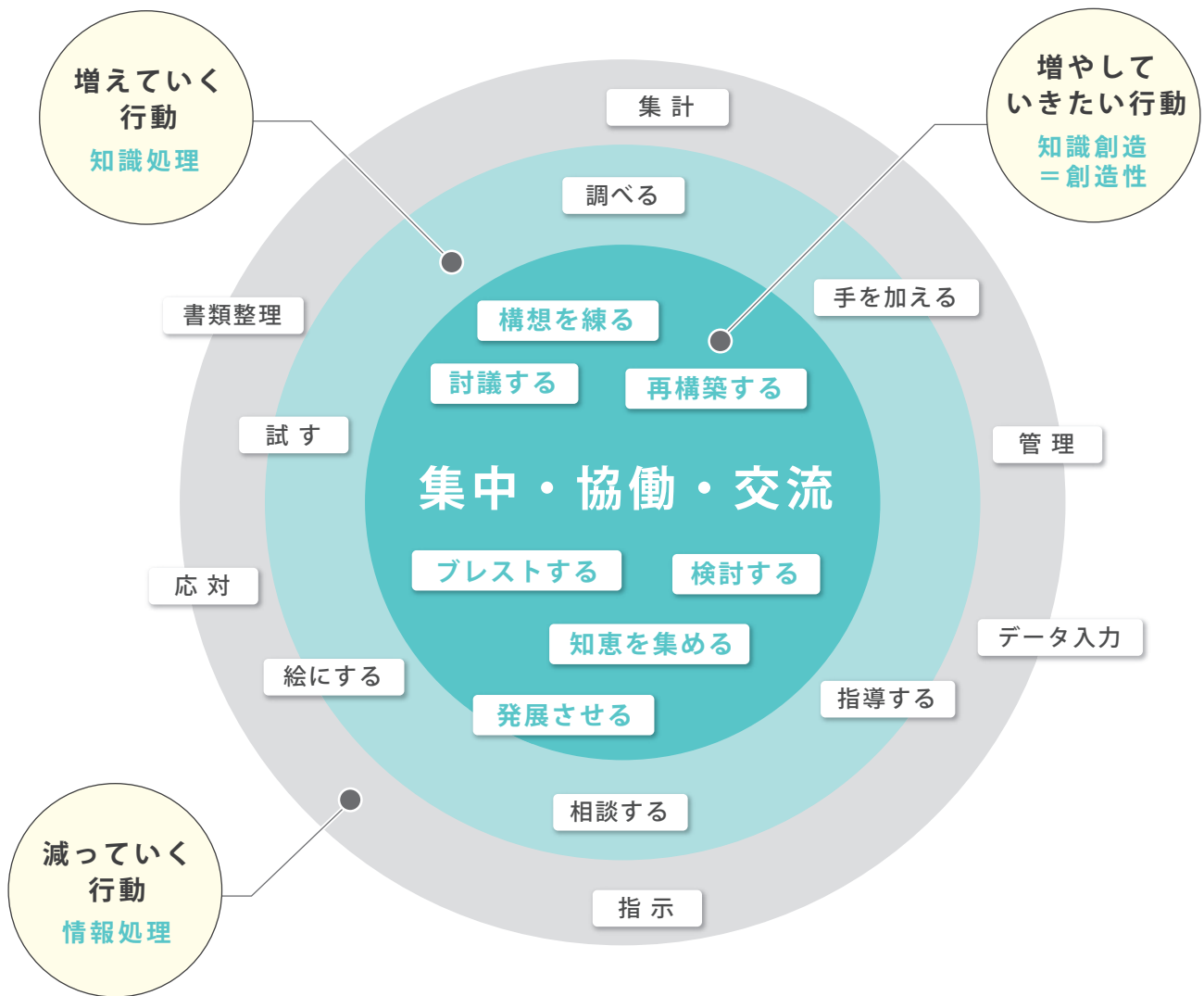


今後は人にしかできない価値ある働き方、つまり創造性がますます必要になります。そこで、個人が能力を発揮しつつ自ら行動できる環境をつくるのが、企業にとっても働く私たちにとっても重要になってきます。

「人だからこそ発揮できる創造性」。

YOU

今、求められ始めている創造性。最大限に引き出すには、
集中・協働・交流の3つが欠かせません。“仕事”に関する行動を整理すると、
私たちがすべき行動が浮かび上がってきます。



働く私たちの行動は多様化し、
もはや自席と会議室という環境だけでは知識創造につながりません。
自身の創造性と能力を発揮するためには、
仕事に合った行動と場所を選択できることが重要です。

▼

プラスでは必要な行動を“6つのフルマイ”に分け、
それぞれに適した環境を提案しています。

創造性を発揮するための“6つのフルマイ”。

仕事内容に応じて、最も適した行動を選べるように。

フルマイ

1

わいわい討議する

collaboration

カジュアルな雰囲気、自由な姿勢でミーティングをすれば議論も自然と活発に。本音を話すことで、物事の本質にもアプローチできます。



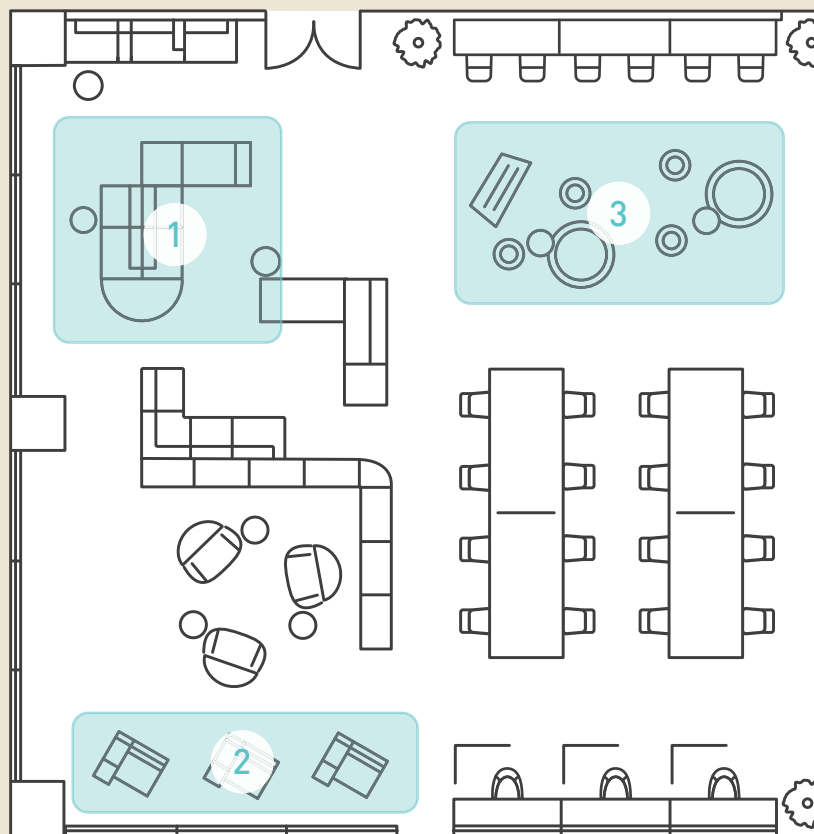
フルマイ

2

じっくり集中する

concentration

誰にも邪魔されたくない時は半個室スペースへ。周りが気にならないからしっかり考えをまとめられます。



フルマイ

3

さくっと共有する

communication

仲間に相談したり意見交換したいとき、少人数でパッと集まれば解決の近道に。スピーディな連携が仕事の効率を高めます。



WORK FRAN は6つのフルマイを促すスペースづくりを叶えます。仕事の内容に応じたふさわしい行動が取れる場所を選ぶ“適業適所”で、一人ひとりの力を最大限に引き出せると考えています。

フルマイ
4

てきぱき作業する

craftwork

書類を整理したり、プレゼン資料をまとめたり。道具が揃う作業台なら効率アップ。手を動かしながらアイデアを形に。



フルマイ
5

ふらっと留まる

touchdown

会議の合間や外出までのスキマ時間を有効活用。偶然居合わせた他部署の人との会話がアイデアのきっかけになることも。



フルマイ
6

ゆったり熟考する

creative

ひとり落ち着ける場所で情報をインプットし仕事のヒントさがし。リラックスした姿勢で発想モードに入れます。



フルマイを自然に促すスペースをオフィスにつくることで、知識創造を中心とした働き方につながります。

働き方はそれぞれだから、行動パターンもいろいろ。

WORK FRAN が導く、フルマイの相乗効果。

Case 01 営業部門

急ぎの案件に
すばやく
対応できる

オフィスにいる時間の少ない営業部門は、短い時間をいかに有効に使えるかが対応力の鍵。

急な案件はすぐに

さくっと共有する

顧客から「今日中に」と急ぎの案件を依頼されたら、短時間で上司と共有し、連携体制を打ち合わせます。



すきま時間を有効活用して

ふらっと留まる

別案件の外出まではあと30分。あえて自席に戻らず立ったまま情報を整理。先ほどの案件について簡単にまとめて、関連部署にメールで連携を依頼。



資料の最終確認をしつつ

てきぱき作業する

帰社後は、関連部署が用意してくれた紙資料をまとめながら最終確認を行い、顧客への提出を完了。迅速な対応力を評価され、顧客との信頼関係は強固に。



時間の意識を持って効率重視のフルマイを切り替えることが仕事のサイクルをスピーディに回す機動力につながります。

複数のフルマイを組み合わせ、切り替えながら行動すると、より高い創造性を発揮できます。



アイデアを出すために

ゆったり熟考する

次の会議で新製品の企画を発表することに。まず視野を広く持って考え始めます。街で見たあの風景がヒントになって生まれるひらめきも。



Case 02 企画部門

一人ひとりの創造性を引き出せる

アイデアが求められる企画部門は、様々な角度から考えを巡らせて、発想力を豊かに。

忙しい時だからこそ

さくっと共有する

外出から戻った上司に声を掛けてその場で現状報告をし、方向性をすばやく確認します。

限られた時間で

じっくり集中する

広げたアイデアを軸に改めて考えを整理しながら資料もまとめます。従来品とは差別化を図れる新製品のコンセプトが明確になり、企画発表に向けて準備は万端。



自由な発想と論理的な思考、両方のフルマイにより、アイデアの幅が広がり内容も深まります。

Case 03

全部門

部門を越えた コラボレーションが 活発化する

多様な人材が集まるプロジェクトでは、ソロワークとグループワークで進め方にメリハリを。

部署横断の新プロジェクトの立ち上げは

わいわい討議する

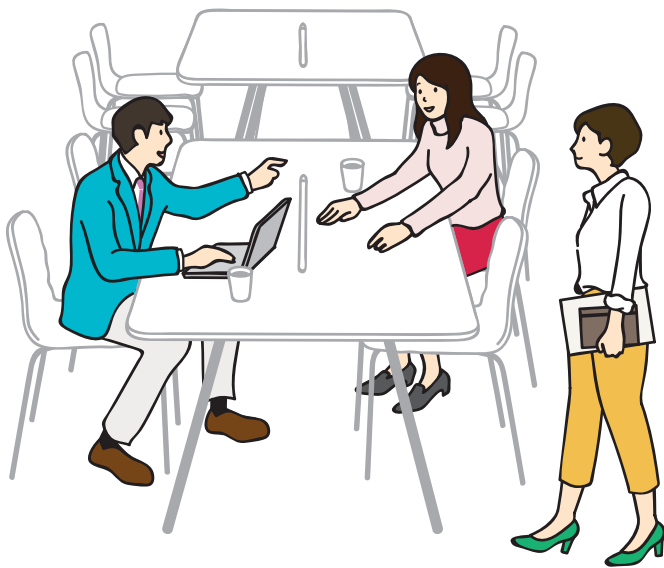
様々な部署が関わる新プロジェクトは、リラックスした雰囲気です活発な意見交換を行い、本音を出し合うことからスタート。



活発な意見交換の後は

ふらっと留まる

メンバーの意見を整理しつつ
コーヒープレイク。居合わせた
人の何気ない一言がヒントになり、
新たな視点が得られます。



これまでの情報と書籍を参考に

ゆったり熟考する

考えをまとめる前に、アイデアに膨らみをもたせます。この時の思考の広がりが、後に生きてきます。





モードを切り替えて

じっくり集中する

今までに出てきたアイデアを集中スペースでさらに整理し、コンセプトを練りあげます。



まとまったらすぐに

さくっと共有する

メンバーと企画の方向性を共有しながら打ち合わせを行い、社内プレゼンに向けて役割分担をします。



プレゼン前日はメンバーと一緒に

てきぱき作業する

最後の準備を効率よく行いながら、翌日のプレゼンの流れを簡単に確認し、メンバーの気持ちをひとつにします。



個人で準備や整理を進めながら、メンバー間のコミュニケーションで連携を図ることで、多角的な視点や知恵を集結できます。

WORK FRAN で フルマイを活性化させるスペースづくりを。

カジュアルな見た目で安心の品質

オフィスで使うなら、WORK FRAN！



頻繁な使用に 耐えうる強度基準

カジュアルな見た目ながら、不特定多数の使用を想定したつくり。オフィス家具のJIS規格に準拠しつつ、さらに厳しいPLUS自社基準を用いて製品強度を設定しています。

社員をシックハウス症候群から 守るF☆☆☆☆認定材料を使用

シックハウス症候群の原因物質とされる、有害物質含有量が最も少ないF☆☆☆☆に認定された材料を使用。そのため、一般的に気密性の高いオフィス空間でも安心して使用できます。



WORK FRANの詳しい情報は
WEBページをご覧ください

webページでは、フルマイを
活性化させるスペースづくり
の方法をご紹介します。

6つのフルマイを
活性化させる
スペースとは？

オフィスの
どこに配置するのが
最適？

空きスペースが
ない場合の工夫

面積や
価格から選べる
レイアウトプラン

導入することで
どんな効果を
期待できる？

アイテム一覧

etc...



WORK FRAN WEB サイト

<https://kagu.plus.co.jp/product/pl-workfran/>

WORK FRANを活用した
オフィスの見学申込

WORK FRAN 詳細情報の
e-Book進呈



WORK FRAN



プラス株式会社

WORK FRAN WEB サイト

<https://kagu.plus.co.jp/product/pl-workfran/>

《お問い合わせ先》

商品仕様に関するお問い合わせは、
お客様サービスセンター

フリーコール：0120-432-298

営業時間：月曜～金曜 9:00-12:00 / 13:00-17:00
(祝日・年末年始・夏季休業期間は除く)

※当社ではお客様からお電話にてお問い合わせいただいた内容を正確に承るため、
通話を録音させていただいております。あらかじめご理解、ご了承をお願いします。
※お見積もりに関するご相談は、オフィス用品取扱の販売店へお問い合わせください。
お客様サービスセンターより直接のお見積り提示・販売はしていません。

2018年11月 改訂

■ お問い合わせは…